

1月15日・29日

香りを「聞く」

香道講座
(歴史民俗資料館)

香道は飛鳥時代、香木が淡路島に流れ着いたことが歴史の始まり。途絶えることのない香りを帯びた香木は、姫君の嫁入り道具として用いられたそうです。香りを聞いて種類を当てる組香という遊びも体験。スツと芯が清められるようなとてもいい香りに、心身が癒やされる優雅なひとときとなりました。



▲火を使わない電気香炉



▲歴史を感じるお香

皆さん真剣に
受講していました▶



▶三種の香りを体験



取材：市民レポーター 富岡紀江、小野由香里
(写真①②)(写真③④)



▲興味深く作品を
見つめる来場者たち



▲サンゴミズキの
オブジェ



▲写真のように精巧に描かれた絵



▲おやつのお包み紙を
ちぎって貼った
エコ絵画

2月8日～12日

作品に対する情熱が伝わる

ダイトウアーティスト展
(サーティホール)

会場にはたくさんの力作が並び、来場者からは、「作品に対する情熱が伝わりました」「同じように頑張りたい」「私も何か作ってみようかな」という声が聞こえてきました。

取材：市民レポーター 竹重稔也



2月8日～12日

防災を考えるきっかけに

サーティde 防災展示
(サーティホール)

蓄光材を使った非常口の案内板や、段ボール製のトイレなどが展示されていました。来場者の中には、大東水害の写真をながら「あの時は大変だった」と当時を振り返る人や、「防災について考える良いきっかけになった」と話す人もいました。

取材：市民レポーター 竹重稔也



▲防災関連の図書がずらりとならぶ



▲1分で組み立てられる
段ボール製のトイレ



▲昭和47年水害の様子

1月14日

「花は咲く」が演奏されました▶

琴演奏会と足湯で心も体も温まる

高齢者の健康を考える日
(総合福祉センター)

緑風冠高校箏曲部による新春にふさわしい琴演奏が会場いっばいに広がり、参加者も熱心に聞き入っていました。その後、素晴らしい演奏の余韻とともに足湯につかり、心身ともに癒やされるひとときとなりました。

取材：市民レポーター 森川安生



▲一音一音ころを込めて

足湯が気持ちよくて、うとうと▶



ホームページにも掲載中!

1月15日

大東市で第九を歌おう!

みらい第九演奏会(キラリエホール)

NHK大河ドラマのテーマ曲から始まり、大東・三好長慶会がゲストとして登場し、大いに会場を盛り上げました。その後は、みらい合奏団の演奏に合わせて、4人の声楽家とみらい第九合唱団の壮大な歌声がホールを包み込み、訪れた人々の心を癒やすひとときとなりました。



▲指揮者に合わせて演奏します



▲迫力のある演奏で会場も盛り上がりました



▲ホールに響き渡る歌声

1月21日

冬の野鳥について詳しく学ぼう!

野鳥観察会(深北緑地)

空中や水辺で気持ちよさそうに活動する野鳥たち。専門家の解説を聞きながら、野鳥の名称や特性などについて学びました。参加者は、深北緑地には多くの野鳥が生息していると知り、1羽1羽に注目しながら観察を楽しみました。



▲カモにもいろいろな種類があるのだそう



◀寒さも忘れて興味津々



童心にかえり野鳥の姿を探します▶

◀熱心に解説を聞く参加者たち



取材：市民レポーター 河村共之



▲大東・三好長慶会の皆さん

取材：市民レポーター 竹重稔也

